

課題に取り組む「室」を紹介します

海洋深層水対策室

海洋深層水とは一般的に太陽光の届かないところの海水です。それは清浄かつ低温安定といった優れた水質特性を持つことから、全国各地で取水施設が整備され、農林水産業をはじめ、食品・飲料・健康・美容など様々な産業分野で利活用が行われています。

海洋深層水対策室では、多田地区内に建設した海洋深層水関連施設の維持管理を行うとともに、企業や市民の皆様へ安定供給できる体制づくり、試験研究機関や大学等と連携した利用研究の推進、新規就業機会の創出を図るため企業誘致等に取り組んでいます。また、他取水地との差別化を図るため、佐渡海洋深層水ブランドの確立を目指しています。

企業振興室

企業振興室は、佐渡市の経

済を支えている商工業の振興を図るための「地元企業の支援」、佐渡市の就業場所を拡大し、若い労働力のUターンや若者の定住を図る「新規企業の誘致」を積極的にを行い、市産業の活性化を目指して業務に取り組んでいます。

現在、企業誘致委員会・企業支援懇談会を開催し、企業立地への支援制度の充実や企業間ネットワークの構築に向けての意見交換会を実施し、企業再生支援を図っています。また、労働力の確保並びに人材育成として専門学校等の誘致に向けて、検討を行っています。今後地元企業や島外からの誘致企業による働き甲斐のある就業の場の創出を目指します。

観光資源開発室

観光資源開発室は、今年4月に観光商工課内に新設された室であり、専属スタッフは3名、支所地域振興課から兼務者5名、公募による協働参加者11名で業務にあたっています。

佐渡は観光の島としての知

名度も高く、豊かな自然と文化がこころな一体となって引き継がれています。パブル崩壊後旅行は個人化・グループ化とその態様が変化しているにもかかわらず、観光地佐渡としての対応が著しく遅れています。この背景を真しに受け止め、現在観光客入込み数の数値目標を、過去最盛期のにぎわいを取り戻すことに置き、戦略として観光資源の再確認と構築、イベントの全島の展開、交通アクセスの改善、そして情報収集・発信の高度化を早急に実施することを基本目標に佐渡百選事業を展開中です。

当室は、皆様方のまわりにある案外気付かない観光素材の情報提供をいただき、個々の資源に高い魅力がなくとも一つのテーマの下に「線」あるいは「面」としての広がりの中において、相互に結びつけ、生かしていくための情報整理をし、満足度の高い観光地作りをしていきたいと考えていますので、情報提供等のご協力をお願いします。

私たちは消費者協会です

EMについて学ぶ

新潟県消費者協会は、消費者の生活の安定と向上を図るために必要な情報を提供するとともに、消費者の意向を行政および業界に反映させる等の目的を持って活動しています。

会員は各種会議や審議会へ参加し、消費生活に関するシンポジウムやフォーラムまた消費生活講座や研修会に出席して新しい情報をキャッチしています。

金井支部では昨年、EMの勉強会を開きEMとは何か？からEMの活用法や効用を学びました。今年5月には、「EM廃油石けん」を作ってみました。廃油石けんは、学校給食で使用し、捨てられる廃油のリサイクルです。石けん使用後の廃水は合成洗剤と違い微生物に分解されやすく、EMが入っていることで環境にもやさしく抗酸化力に優れ、菌それぞれの働きによつて廃水経路の汚れを分解し、海までも浄化するといわれます。

そもそもEMとは何か？自然界に存在する乳酸菌や酵母菌等80種以上の有用微生物群の「LPS」。

新潟県消費者協会金井支部

6月14日には、沢根五十里のEMで農園を営んでいられる加藤農園を訪問し、EMボカシとEM活性液で水稲やぶどう、お茶等を低農薬で栽培している状況を視察研修させていただきました。

そして6月19日には、エゴヒビキさと「主催の環境と島づくりフォーラム」にも参加しEMの開発者である比嘉照夫琉球大教授の直接の講演も拝聴しました。

EMには環境を再生する力があることを学び、私たちが会員もささやかながら、米のとき汁発酵液を作つて、お風呂や洗濯に花の水やりにも様々に利用しています。

